

「デンマーク人に北欧教育ノコト聞いてみよう！」

◆デンマークの教育制度について

<p><u>Family Daycare</u> (一般の家庭で子どもを預かる) 有資格者が家庭で複数の子どもの預かる。 障がいのある子どもも受入可。(2人分としてカウント) 保育者が急用・急病等の場合は、デイケアのセンター的施設で預かってもらえる。</p>	<p><u>Public Daycare</u> (保育園:1歳～3歳) ペタゴ1人に対し子ども8人。 *ペタゴ: コミュニケーションを通して子どもたちの支援をしていく人のこと。各学校に必ず常駐しており、保育園・幼稚園、学校、障がい者施設や高齢者施設、病院、学童保育などにいる。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◆課題 : 人手不足、場所が少ない、待機児童

<p><u>Kindergarten</u> (幼稚園:3, 4歳～6歳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よみかきは行わない →小学校でやるべきこと ・人間としての成長にフォーカス <ul style="list-style-type: none"> 人とコミュニケーションがうまく取れるか 仲直りできるか、我慢できるか、問題があった場合に大人に伝えられるか、など。 ・小学校との連携 <p>※森のようちえん (デンマークではそれほど多くない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物があるところもあれば、森そのものがようちえんというところもある。 ・子どもがより自由にできる。 <ul style="list-style-type: none"> →必要に応じて声かけ、支援、励ましはある。 ・けがをしても、けがを通して学ぶ。安全対策しすぎない。 <ul style="list-style-type: none"> →失敗から自分は何ができて、何ができないかを学ばせる ・自然の中で、自然や動物への意識が高まる

◆大切にしていること:

子どものペースで取り組むこと (団体行動にはフォーカスしていない)

何を、なぜやるのかを常に考えること。

共通ゴールに対して、どう子どもにアプローチするかは各幼稚園に任されている。

◆税金は日本と比べて高いが、無償の支援が多い。

→お金がないから教育が受けられない、学校に行けないということがない。

Pre-school Class

(0年生)

- ・ペタゴ-2人、子ども24人~28人
- ・翌年、小学校にスムーズに移行できるようにベースをつくる1年。
新しい環境慣れる。

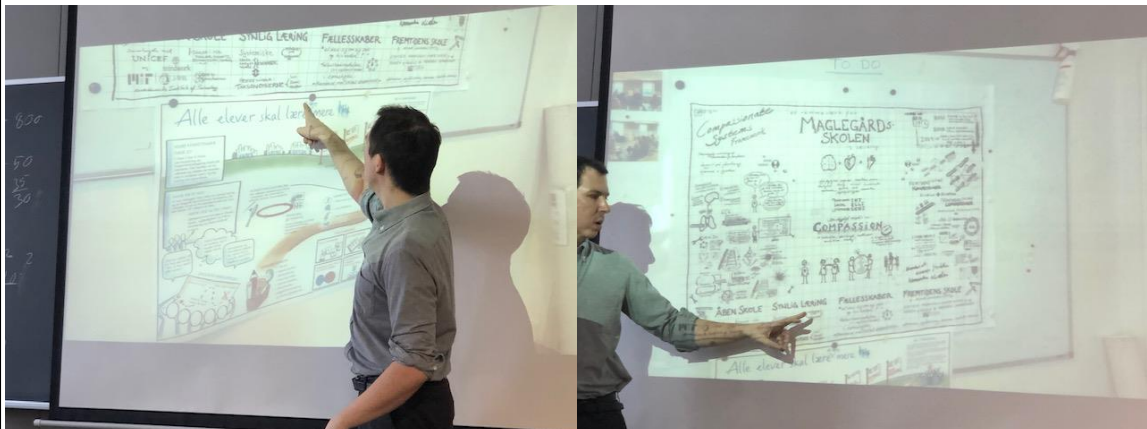
Municipal Primary and Lower Secondary School (公立小・中学校)

Private School (私立小・中学校)

Home-Schooling (ホームスクーリング)

*1年生~9年生 小中一貫(義務教育)

- ・学校からPCが1台ずつ支給され、9年生まで宿題や教科書がオンライン化
- ・宿題はオンライン上で先生とやり取り。
- ・教室は一方的に話しを聞くスタイルはなく、最近はグループワークが多い。
机も一人一人が同じ方向を向いているのではなく、テーブルを囲むように座ったり、床に座ったり、集団が苦手な子は壁に向かって座ったり、自分が楽になれるようなスタイル。
- ・子どもの声を聴くということを大事にしている。みんなが関わってみんなで作る。
「0歳からみんなが社会の一員」という考え方。「社会人」ということばがない。
(デモクラシー教育)
- ・各学校には、学校が何をめざすのか、何を大切にしているのか、を絵と言葉に表したものが貼られている。教員一人一人が説明できる。



*UNICEF Rights School

子どもの権利を大事にする学校

cf. UNESCO スクール

◆学校外の多様な学びの場

Ungdomsskole

(若者学校：7、8年生/13,14歳～)

- ・週に1～2回程度、夕方からの学校。申込制。
- ・成績なし、テストなし、居場所のようなところ。自分で好きな勉強ができる
- ・様々な学校から集まり、同じ趣味の仲間を見つける。コミュニティづくり。

10年生 高校に行く前の1年。

高校段階から選択肢が増えるため、自分のやりたいことをじっくりと考える1年。

Upper Scondary Education

(高校の種類：Stx / Hhx / Htx / Hf / Adult upper secondary level Education)

Vocational Education and Training Programs (職業訓練校)

Basic Social and Health Training Programs

選択肢が大幅に増える。

いつでもやり直せる。そもそもやり直すという考えがない。

いつでも必要なときに学べる。中学卒業後、働いてからまた高卒資格を取りに来る人もいる。

◆学校外の多様な学びの場

Efterskole エフタスコレ：after school

15,6歳対象。

- ・寄宿制
- ・勉強よりも個人の「成長」にフォーカス

STU (特別に計画された若者教育という意味：特別支援学校のようなところ)

- ・作業所、給与あり。
- ・インターンシップ
- ・できることを見つけ、社会につなげる

Folkehojskole フォルケホイスコーレ

(19歳～大人対象)

- ・「生」の学校
- ・人生を見つめるための学校 自分は何をしたいのか、どんな風になりたいのか。

幼児教育から高等教育まで一貫していると感じたことは...

教育を通して目指しているもの

- ・自分はどうありたい／生きたいか を自分で見つけること
- ・自分は何が好きで、何がやりたくて、どうであれば幸せなのかを問い続けること
- ・他者を尊重し、どう共に生きるのかを探究すること

そのために、 人間としてどう成長するのか「個」に焦点を当てる

- ・自分は何が好きで、何がやりたいのか、
- ・なぜ、何のためにするのかを一つ一つに問う
- ・挑戦や失敗から何を学ぶか、自分に何ができて何ができないかを知る
- ・そこにいるみんなが心地よく暮らせるために、なにが必要で何が不必要なのか

講師プロフィール 他

-藤田 さなえ Actiwish LLC 代表 / (非営利型一社) Global Catalyst 代表理事
聖心女子大学卒。民間企業・英国留学を経てコペンハーゲン大学で教える。帰国後、当時の教え子（デンマーク人 クロマン・ソーレン）を息子に迎えて日本で法人を設立。クロマンと共にアジア・北欧・日本で活動。

日本では、北欧での現地生活者・日本人の二つの視点からみた北欧の事例を参考に、小・中・高・大学生や若者、教師、女性、母親、シニアなどにワークや絵本を多用した講演を行う。北欧に教育・行政・SDGs 関係など多くの知己をもち、毎年 1 年のうち 3・4 か月を北欧で過ごす。クロマンを含め、三人の息子の母。

-クロマン ソーレン Actiwish LLC 副代表 / (非営利型一社) Global Catalyst 理事
コペンハーゲン大学卒。将来、アジアから世界に貢献したいとアジア各国の中から日本を選び日本語を専攻。後に当時の担任だった藤田さなえの息子となる。早稲田大学のサマーコース、日本文科省国費留学生として大分大学留学などを経、卒業後はアジア・日本・北欧で活動。

デンマーク語／英語／日本語通訳や、研究者・議員・メディア・旅行者の北欧での会議や視察・ツアー他のアレンジなども行う。日本語能力試験 N1、漢字検定 3 級、日本の手話技能検定 4 級、SEC 認定日本酒プロフェッショナル (Certified Sake Professional)

所属法人について

(非営利型一社) Global Catalyst

スリランカ：障がい者工房のアドバイザー。

インド：ブッダガヤの学校のアドバイザーと教師のトレーニング

Actiwish LLC

北欧と日本：中高生や障がい者のエクスチェンジ、SDGs 関係のイベント企画・運営

留学や研修、文化交流、視察などのコーディネート

通訳・翻訳

日本：北欧の事例を参考にした講演やワーク、セミナー (学校・行政・企業他)



*2/23 | 13:00 - 16:30 (大通高校) 参加者15名 (1名オンライン参加)